



ふたなり
超能力
開発
レッスン

誰一人

来ないっ

もう半年も
経つてのに…

超能力開発教室

あなたの中に眠る未知の力覚醒させます！

興味そそり
まくるはずだろ
こんなの

「靈感体質」とか
「オーラが見える気がする」とか、
そんな感じの子がこぞって……

すみま
せん……

いや…可愛いおバカが
一人でも引つかければ、
それで満足だったんだが……

超能力はちよつとは
使えるから全くの嘘
ではないはずだ……

あのう……

教えられるか
どうかは
別として……

も、もし
もおしっ……！

ぬおっ！？

ここで超能力が
学べると聞いて
やってきたん
ですけど……？

マジでっ！？

あついや…

そうか
よく
来たね…!

びびっくり
したあ

まさか嘆いた
直後に
現れるとは……

しかも…
可愛い
じゃないか

あなたの名前は？
どうして超能力が
使いたいんだい？

だがここは
冷静にいけっ

私、佐倉ひより
って言います

今まで生きてきて
私ってなんか
取り柄がないなあゝ
って思ってた

こんな身体でっ…
取り柄がないなんて
よく言えたなあゝ!?

モジ
モジ

でもお…
なんだか超能力の
才能はある気が
してるんです

ふむ……？

たまあに指先から電気を
バチツと放てるんです

冬場に多いんですけどお
これ才能ですよね？

なるほど
……有望だね

あっやっぱり
そうなんです
嬉しい！

うん、この娘
だいぶ
頭が緩いな

めちやくちや
お誂え向きの娘が
来たぞこれは……

うむ、君は
きつとすぐに
上達……

ところでえ……

他の生徒さん達は
いないんですか？

うっ！

選ばれしものという
事実だけで
生きていきますよ

いいやつ！
せっかく才能
あるんだから……

ええ！
やったあ！

もう超能力
使えなくても
いいですう！

こ、この教室は
一定以上のレベルの
才能がないと
たどり着けない
仕組みでね……

実は君が
初めてなのさ

手取り足取り
指導するよ……？

お願い
しますう

まずは君の中に
眠る潜在能力を
確かめさせてくれ

スッ

お
ワクワク
しますう

上着を
脱いで

少し
触れるけど
いいかな？

はい

ぬぎ

いきなり
おっぱいを驚掴みに
するわけにも
いかんからな

ふむふむ

徐々に
徐々に

いいかが
でしょう？

：膨大な
サイコエナジーを
内に秘めているね

本当ですか？

サッ

サッ

ただせつかくのエナジーが
今のところは身体の中で
滞ってる状態だ

これをしっかり全身に
循環させないといけない

ほうほう

ハッ

ハッ

私のエナジーを
ひより君に
注入することで
刺激を与えよう

それが近道
だからね

注入？
ですか？

ああ……

落ち着け……
まだ早い……

驚かして
すまない

ひえっ!?

我慢なら
なくて……!!

あっエナジーの
滞りがね？

早いけどっ!!

ここが明らかに
「詰まってる」ね!?

だ、大丈夫
ですけどお……

なんという
ポリウム…

身体が
熱いですう

あ、あのお
これもその
影響ですか
ねえ……？

うむ、いい傾向だ
エナジーが体中
巡っている証拠さ

モミ

モミ

ドキッ♡

妙に土手高だとは思
つてたが……

生えてたん
かいっ……！

ドキッ♡

お得意さん！

ドキッ♡

なんかっ……

勃ってき
ちやってえ……

ぬほおっ!?

ドキッ♡

心配する必要はない
これは当然の成り行き

ここはサイコエナジーが
集中しやすい場所なんだ

こんな
とこに……!?

ムッ♡♡♡

そして君が秘める
潜在能力に
合点がいったよ

ふたなり体質は
古来より強力な
サイコエナジーを
持つ例が多いんだ

ほえ……

どれ、しっかり
見せなさい

ズルッ

はえっ!?
恥ずかしいですっ

あまりエナジーを
溜め過ぎると暴走する
危険性もあるんだ

特にこの状態になったら
「抜く」必要性があるね

そう……
なんですね

ど、どう?
普段は自分で
抜いてる?

もじっ

いいやあ
そのお……

はい……
たまに
ですよお?

せ、先生え……

なるほど
だがやはり
それだけじゃ
不十分なようだ

私から力を
送り込んで
押し出して
あげよう

恐れなくてもいい
溜め込んだものを
「放出」することは
自然なことなんだ

わかりました
お任せしますう……

ここに
濃縮された
エナジーが

パンツパンに
詰まっているね

そして「幹」へも
私のエナジーを
送り込むっ

しっかりとほぐして
「幹」の方へと
巡らせないと

ここれっ……！
出ちやい
ますよおっ……！？

せんせっ……！

そういうっ……
コトなん
ですかあっ！？

せんせっ……！

そうとも！





ああーっ

ビュッ

グッ

とてつもなく濃厚な
サイコエナジーが出たよ

よく頑張ったね

はう……

確かに一人で
したらこんなに
出ないもんなあ

……あれえ？
先生も……？

あつ……!?

こ、これは……
どうやら君の身体から
私へもエナジーが
流入したようだ



ハァー



ハァー

君の持つ
サイコエナジーが
あまりに強大
すぎるために…

くうう…
苦しい…

あわわ…
私のせい
ですかあ!?

ど、どど
どうしたらっ

いやっ君に
責任はない…

ただ…
「抜く」手伝いを
してもらえたら
助かるかな…?!

ぐあああっ…
ま、まずいっ
身体が侵食され
出した…!!

うっ!
いくらおバカでも
賢者タイムだからか
疑ってる…!!

ええっ!!
ごめんなさい
躊躇ってる場合じゃ
ないですね…!!

ち、乳首を…
舐めて…くれっ…!!

は、はいっ

おお…
たまらんっ…!!

ガバッ



早くもエナジの
「流れ」が
掴めてきたなっ

うまいぞ
ひより君……！



そのまま私の
「幹」を抜くんだっ…



僅かな
残留エナジーさえ
命取りなんだ

一気に吸い上げれば
そのリスクは消える

頼むよ……！



そろそろ
噴出しそうだ

口で啜えて

ええっ!?



ああひより君
なんて物分りが
良いんだ！

君は良い
サイキツカーに
なるよっ



わか……り
ました……！



ハハハ



私のエナジーを
全部吸い
上げてくれっ！

ズン

ブルブル



ふううう……

おっと、ひより君
吐き出しては
いけない

今出した精……
サイコエナジーは
君と私のエナジーを
私の体内で
ブレンドしたものだ

そうすることで
君はさらなる覚醒を
遂げることになる

それを
飲み込むんだ

!?

他人のサイコエナジーを
受けることは刺激となり
力量を伸ばすことに
つながるが
同時に負担も大きい

しかし、君が口に含んでいる
エナジーのように自分の
エナジーが混ざった
モノならば無理なく
吸収できると
いうわけなんだよ

つまりこれは
チャンスだよ
逃す手はない！





うむ、
それでいい

なんだか
わかん
ないけど…

ううんサイコエナジーって
すぐ絡みつくんですねえ

ん……？
ひより君？

また「抜く」必要が
あるみたいだね…？

ふああっ？！
なんでえ？！



「力」を持つ者の
宿命だよ
さあ「幹」を

その後もひよりは
教室に通った

えゝ？！
なんですか
この格好お？！

お、お願い
しますう……

これを着ることで
サイコエナジーの
無駄な流出を
防ぐことができるんだ

チィィィ

やはりエ……
才能がある者に
よく似合う

ホントは
俺の趣味

そ、そう
ですかあ？

才能があると
おだてられ

今日はエナジーの
流れを潤滑に
する訓練だ

エナジーの通り道を
刺激していくよ

しっかり
意識したまえ

どんな行為も
トレーニングだと
言いくるめられ

さあまたここへ
集中してきた



ようし、次は
体内にエナジーを
留める訓練だ！

「抜く」
ばっかりじゃ
肝心なときに
出力不足に
なってしまう

えっ暴走しないため
放出したほうが
いいんじゃない？

ハ—
エナジー量を自在に
コントロール
できてこそ一人前さ

君に私のエナジーを
大量に流し込む
その状態で耐えるんだ

さあ脚を開いて
「地脈」で「幹」を
受け入れるんだ

あ、あのう…
これって
普通にセックス
じゃあ……

これは効率を
求めた結果なんだよ

端から見れば
ただのセックスでも

サイコエナジーを
高めるための
立派な訓練さ

あっさりと
身体も
許し

サッ

アッ
アッ

ドキ♡

ドキ♡

ハ—



ああ……
挿入っ
ちやった……

ほら
実に滑らかに
「結合」できた

事前にエナジーを
循環させて「地脈」を
潤っていたからだ

どうだい私の「幹」は？
君の「地脈」に馴染むかい？

よく……
わかりませえんっ



さあどんどん
ひより君に
エナジーを
送り込むよっ

そしてギューンギューン
循環させるんだっ

なんとなく
違和感は
ありつつも

フッ♡

キョッ

グッ♡

キョッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

キョッ♡

グッ♡

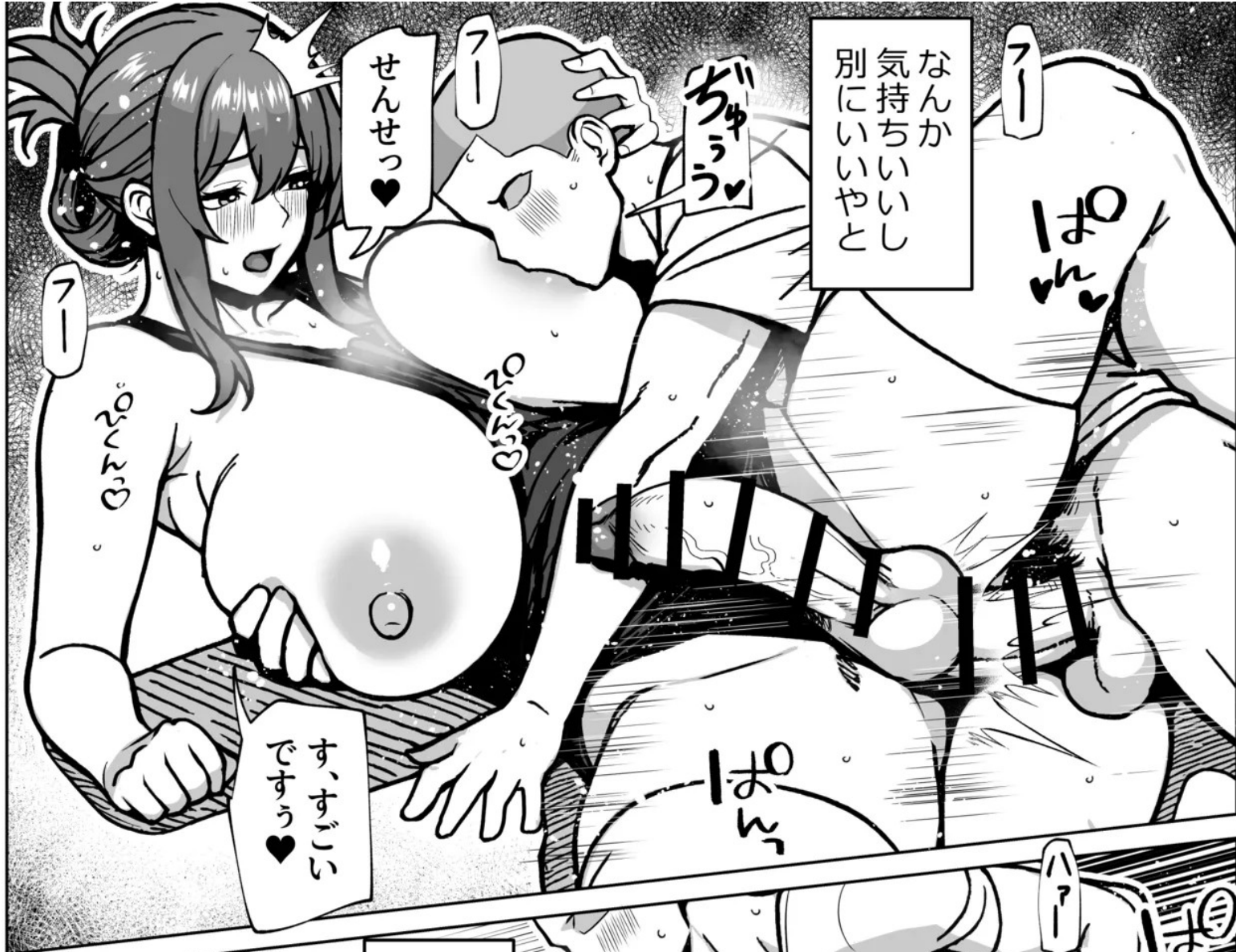
ハァ

ズッ

グッ♡

ズッ

ハァ





さー我慢！

我慢！

我慢！

すると
君の空いた「器」に
私のエナジーが
百%流れ込む
以前なら
危険だったが
今の君ならば…

あゝ♡
もうなんでも
いいんで先生の
くださあいっ♡

そろそろ
私のエナジーを
注入してやろう

それと同時に
君のエナジーを
放出するんだ



君と私は
相性がいい
みたいだね

一度にこれほどの量の
エナジーを
送り込めるなんて

先生え……

私そろそろ超能力
使えますかねえ……

あっうん……
大きな才能ほど
開花には時間が
かかるものだからね……

ま、まだ
まだかな

その後もひよりは
身体を好き放題
弄ばれる日々が続いた

先生……

私本当に超能力
使えるん
ですかねえ……

コリ♡

いやもう
すぐのハズだが……
おかしいな

いくらひより君が
頭ゆるゆるとはいえ
このまま
騙し続けるのは
難しいか……

なにか
いい手は……

何なのこの
格好お……

そういうえば
ひより君は
興奮してくると
快樂優先で
超能力のことを
忘れる傾向に
あるな……

スッ

焦る必要
などないが
これを飲めば
超能力覚醒の
手助けとなる

あつそんなのがあるのに
黙ってたんですかあ？
意地悪ですよ……

まあ飲まずに
済むならば
そっちのほうが
良いからね

これは媚薬……
興奮させて
快樂で有耶無耶にして
ごまかそう

そう言われるとなんか
怖いんですけど……

そう構えずとも
ちよつとだけ
興奮作用が
あるだけだよ

アムンッ



いつもよりエナジーが
充実してきましたよお♡



なんかっ……♡



さあ「地脈」を
開きなさい
私が「幹」を
挿れて…



お、薬の効果が
出だしたね



今私「幹」に
破裂しそうなくらい
エナジーが
集中してまあす♡



せーんせつ♡

ん……
うんっ？



いえ
私なりに
考えたん
ですけどお♡

そ、そうか
なら一旦
「抜く」
ほうが……

いつも先生が私に
やってるみたいにい♡

今度は私が先生に
エナジー注入したら
どうですかねえ♡

なにっ!?

いいかんひより君!
薬の効果が効きすぎて
暴走しているぞ!

そんなこと
ないですよお?

だって私のエナジーを
先生が吸収すれば
今以上の超能力者に
なるわけでしょお?

そうすればあ
私の覚醒への近道にも
なるじゃないですかあ♡

毎回毎回自分だけ
「幹」を「地脈」に
挿れてえ……

私も先生の
「地脈」を味わって
みたいです♡

そういう
理屈か……!
いやしかし……

ひ、ひより君！
これは「地脈」ではなく
ただの肛門……

ぐぶ

ぶ

計算外だった！
ひより君は
昂りすぎると
こんなにSっ気が
出てくるのか……！

どうですかあ♡
私の「幹」はあ？

熱ういエナジー
感じますかあ？

あ

ギ



はー♡

先生え♡

いつもの調子で
指導して
くださいよお♡

はー♡

うー

はー♡

お♡

はー♡

エナジー
持て余してるん
ですけどお？

はー♡

情けない声
あげちゃってえ♡

はー♡

お

お

ハチャ

独りよがり
に腰を
振っちゃ
いますよお♡

ん♡

はー♡

ハチャ

ハチャ





ぜんっぜん
耐えられて
ないですよお？

修行が
足りてないんじや
ないですかあ？

なんで
使えないんですか
超能力う？

なのにおかしい
ですよええ？

「幹」だって
私のほうが断然
大きいしい♡



先生の指導力
不足でしょお？

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

私という天賦の才を
腐らせてるん
ですよ？

逆に私が教育して
あげましょうかあ？

それぞれえ♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡

はー♡





なんて顔
してるんですか♡

き、君のエネルギーが
強烈過ぎてっ……



せんせっ♡

せんせっ♡

お♡

はい♡

お♡

お♡

はい♡



一体どんな
気分ですう？

先生なのに教え子の
エネルギーに押し負け
てるなんてえ……♡

はい♡

はい♡

はい♡

はい♡



もう出ちやい
ますよぉ♡

先生もエナジーを
出して「器」を空に
してくださいねっ♡

私の強大な
エナジーで
満たして
あげますからっ♡

イキます
よぉっ♡



おあい
おあい
おあい

んあ
んあ
んあ

ビュ

グググ
グググ
グググ

ビュル
ビュル
ビュル

へ？

そんなことないです
実は超能力
使えるように
なったんです

は、はは…君は
私には手に負えない
逸材かもしれない

先生ごめんなさいい……
あんな酷いことして……

後日

念動力
っていうん
でしうか

ホラ

手を触れずに
物を動か
せるんです

ちょ、超能力に目覚める
キツカケは人それぞれ……

君は逆ア……
他人の「地脈」への
エナジー注入
だったようだね！

ということに
しておこう

それでこの能力を
使ってこういう
トレーニング
考えたんです♡

一人でも
こうやってえ♡

エナジーの通り道を
同時に刺激
できるんですよ♡

エロさもだいぶ
成長してしまっ
たみたいだな